

「関係の中で働かれる神様」

～「あなたがたは互いに愛し合いなさい」～

「今わたしはあなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したと同じように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。あなたがたが互いに愛し合うなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、この世の人々は知るようになります。」ヨハネによる福音書13章34・35節[現代訳]

使徒ペテロは世の終わりについてこう述べています。

「世の終りが近付いている。だから、自制して、いつも祈っていなさい。何よりもまずお互いに熱く愛し合いなさい。愛はほかの人の罪を赦すものである。」第一ペテロ4章7・8節[現代訳]

世の終りには大混乱が訪れます。そして、私たちの心を揺さぶります。そんなときに、主の御前に出て祈ることによって私たちの心が守られ、そして、人間関係の中で、愛を土台として正しい関係を築くことができるのです。

私たちは生物学的な存在であると同時に、社会的な生き物です。様々な関係の中で生存できる存在です。

今から800年ほど前、現在のイタリアで生まれた神聖ローマ帝国の皇帝フリードリヒ2世。このフリードリヒ2世が生まれたばかりの赤ちゃんにとっても恐ろしい実験をしました。赤ちゃんが産まれてからのお世話にスキンシップも話しかけもしなかったという育児。そうすると子供はどのように育つかと言う実験。その結果、子供達は、全員が1歳の誕生日を迎えることなく誰一人として育たなかったそうです。愛情を示してもらえず、言葉もかけてもらえず全員が死んでしまったそうです。

ただミルクを与えて、お風呂にも入らせて、排泄もさせるだけでは人間は生きられないのです。愛による関係がなければ、魂、心の交流がなければ死んでしまうのです。

イエス様が弟子たちにされたことは、当時の奴隷が主人にすることでした。まず、へりくだることを求めました。そして、お互いの汚い部分を取り除いてあげることを求めました。そして、ペテロのように、自分の汚い所を相手に任せることを拒んではならないこともお教えになりました。私たちの愛の関係は、お互いに自分の嫌な部分も含めてすべてを明らかにする関係を意味しています。もちろん、現代はプライバシーや個人情報などを制限しなければならない時代になってしまっていますが、本来の安心できる社会のように、すべて、ありのままを受け止め合う関係、祈りの関係が私たちに与えられたキリストの弟子としての関係であることを主は願っておられるように思います。それにはまず、私たち一人一人が、父なる神様の前に、自らを委ねる所から始まります。そして、同じ神様に仕える兄弟姉妹を心から信じ、愛していくことで、この世の人々にキリストの香りを放つことができるのです。